

第 135 回 日本皮膚科学会静岡地方会

日 時：令和 5 年 2 月 4 日（土） 15 時 00 分

Web 開催 < Zoom >

日本皮膚科学会静岡地方会 事務局

〒431-3192 浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号

浜松医科大学皮膚科学教室内

TEL：053-435-2303 FAX：053-435-2368

E-mail：derhama2@gmail.com

ブログ：<http://derhama2.blogspot.jp/>

★地方会当日緊急連絡先

TEL：053-435-2303

浜松医科大学皮膚科学教室

参加者の皆様へ

- ◆ 参加受付 14時45分より入室を開始いたします。各自パソコン等でご参加ください。
- ◆ 皮膚科専門医の単位受付について
聴講は、聴講ログで確認とし、聴講ログの確認を持ちまして単位登録となります。
新専門医制度にて単位を取得される方は、一般演題開始後15分までに入室してください。
 - ・旧専門医制度：6単位
 - ・新専門医制度：地方会の出席により1単位（年間2単位まで）
さらに2時間の一般演題の聴講により1単位
- ◆ Web学会参加手順
事前参加登録を行ってください。
聴講は日本皮膚科学会会員および関係者に限られます。

※ご登録の際に、ご所属、お名前、日本皮膚科学会会員番号、メールアドレスを正確にご記入ください。また、著作権および個人情報保護における誓約への同意が必須となります。
- ◆ 質問方法
質疑は演題終了毎に直接マイクONをお願いします。

口演発表の皆様へ

- ◆ カメラ、マイク機能のついたパソコンと安定した通信環境をご準備ください。
- ◆ 発表時は、カメラ、マイクをONにし、各自“画面共有”にてご自身のスライドを共有いただき、開始してください。
- ◆ 発表時間は、口演5分、討論2分です。時間厳守でお願いいたします。
- ◆ 利益相反（COI）の開示について
演題発表時の筆頭発表者における利益相反（COI）の開示が必要となります。COIの有無にかかわらず、発表スライドにてCOIの開示をお願いいたします。詳細は、公益社団法人日本皮膚科学会HP上に掲載の「COIガイドライン」をご確認ください。

15:00-16:00

スポンサードセミナー

座長 本田 哲也（浜松医大）

『 爪白癬は早く確実に治す

～ネイリンの使用経験を踏まえて～ 』

演者 仲 弥（なか わたる）

仲皮フ科クリニック 院長

共催：佐藤製薬株式会社／エーザイ株式会社

【御略歴】

- 1977年 慶応義塾大学医学部卒業
- 1977年 慶応義塾大学医学部皮膚科教室入局
- 1983年 慶応義塾大学医学部皮膚科医長
- 1987年 慶応義塾大学医学部皮膚科専任講師
- 1996年 仲皮フ科クリニック院長

【御役職】

- 2006年 日本臨床皮膚科医会副会長
- 2010年 日本臨床皮膚科医会参与（現職）
- 2010年 埼玉県皮膚科医会会長（現職）
- 2017年 慶應義塾大学医学部皮膚科同窓会会長（現職）

16:00-16:35

一般演題

座長 島内隆寿（浜松医大）

1. 骨盤内 B 細胞リンパ腫を伴った腫瘍随伴天疱瘡の 1 例

齋藤寛大，秦 まき（沼津市立），畑 明人，伊藤 整，栗原和生（浜松医大）

48 歳，女性．難治性の多発口腔潰瘍にて当科受診．尋常性天疱瘡と診断し，プレドニゾン投与開始．CT 検査で骨盤内に腫瘤を指摘された．

2. ブドウ球菌性熱傷様皮膚症候群との鑑別を要した尋常性天疱瘡の 1 例

福田 萌，森木 睦，栗山幸子，鈴木陽子（静岡市立静岡）

69 歳，男性．全身に多発するびらんを生じ，各種検査と病理所見より尋常性天疱瘡と黄色ブドウ球菌感染の併発と診断した．抗生剤とハーフパルスを含むステロイド，IVIG にて加療した．

3. エトレチナート内服が有効と考えられた Darier 病の 1 例

山西あゆみ，武内直生，熊谷宜子，八代 聖（静岡市立清水），堀口大輔（静岡市）

44 歳，女性．数か月前より頸部，胸骨部に角化性丘疹が出現．病理で異常角化，棘融解．祖父に同症状．エトレチナート内服開始後に改善．

4. 薬剤性過敏症症候群（DIHS）の経過中に毛孔性紅色剝糠疹（PRP）を呈した 1 例

石川優人，安島さやか，橋爪秀夫（磐田市立総合）

86 歳，男性．アロプリノールによる DIHS 治療中に，HHV-6 再活性化を契機に，手足に臨床および組織学的に PRP と考えられる皮疹が出現した．

5. 融合性細網性乳頭腫症の 1 例

田嶋瑞帆，津嶋友央，清 佳浩（富士市立中央）

12 歳，女性．腹部と四肢に色素沈着を認め，臨床像と病理組織像から融合性細網性乳頭腫症と診断した．

16:35-17:05

一般演題

座長 三澤淳子（浜松医療センター）

6. 大腿部脂肪吸引後に生じた劇症型溶連菌感染症

山崎圭介，後藤吉啓，中澤慎介，藤原雅雄（富士宮市立），太田悠介，瀧口徹也，中川雅裕（浜松医大形成外科）

33歳，女性。他院での両大腿部の脂肪吸引後に劇症型溶連菌感染症を発症した。抗菌薬投与，昇圧薬，切開排膿処置にて軽快した。

7. 背部炎症性粉瘤より生じたガス壊疽の1例

近藤峻平，小倉康晶，大塚正樹，戸倉新樹（中東遠総合医療センター）

58歳，男性。背部炎症性粉瘤よりガス壊疽となり，緊急でデブリードマンを行った。強い炎症所見を示す炎症性粉瘤はガス壊疽に留意が必要である。

8. つつが虫病の1例

浦野聖子（十全記念）

61歳，女性。5日前から39℃の発熱，左上腕に痂皮を伴う紅斑があり，体幹・四肢に紅斑が多発。血液・痂皮から *O.tsutsugamushi* が検出。

9. 当院で経験した梅毒症例

秦 まき，齋藤寛大（沼津市立）

全国的に梅毒が急増しており，患者が皮膚科を受診する機会が増えている。当院で経験した梅毒の症例について供覧する。

17:05-17:35

一般演題

座長 大塚正樹（中東遠総合医療センター）

10. 先天性血管拡張性大理石様皮斑の1例

岡田英之，星野友美，矢田貝剛（藤枝市立総合）

生後2日，男児。出生時より右上肢全体，左下腹部に網状皮斑を認め，先天性血管拡張性大理石様皮斑と診断した。

11. シロリムス内服が有効であった青色ゴムまり様母斑症候群の1例

丸山紗貴子，生玉梨紗，長谷川敏男（順天堂大静岡）

48歳，男性。青色ゴムまり様母斑症候群の診断で通院中。対症療法で改善乏しくシロリムスの内服を開始後に血管腫は縮小した。

12. 毛包炎様皮疹を呈した頭部血管肉腫の1例

鈴木謙仁，影山玲子，宜野座淳善，島内隆寿，伊藤泰介，本田哲也（浜松医大），石川優人，橋爪秀夫（磐田市立総合）

84歳，男性。半年前より後頭部に毛包炎様皮疹が出現，抗菌薬に難治であり潰瘍化した。皮膚生検にて血管肉腫と診断した。

13. 後頭部に生じ頸部筋層への浸潤傾向を認めた微小嚢胞性付属器癌の1例

武内直生，山西あゆみ，熊谷宜子，八代 聖（静岡市立清水），堀口大輔（静岡市）

68歳，男性。後頭部から頸部の板状硬な硬結局面，頸部回旋制限あり。病理で線維性間質を背景に角化嚢腫と管腔構造を有する索状の腫瘍胞巣。

17:35-18:10

一般演題

座長 藤山俊晴（浜松医大）

14. 頭部に生じた限局性結節性皮膚アミロイドーシスの 1 例

伊藤 整，島内隆寿，藤山俊晴，伊藤泰介，本田哲也（浜松医大）

40 歳，男性．頭部の脱毛を伴う淡紅斑結節を主訴に来院．皮膚生検にて抗 AL(λ)抗体陽性のアミロイドの沈着を認めた．

15. Pseudoxanthoma elasticum-like papillary dermal elastolysis (PXE-like PDE) の 1 例
森本悠里江，須藤 晶，山村一美，堀内義仁（国際医療福祉大熱海）

64 歳，女性．3 年前より両側頸部，両腋窩に白色調の丘疹が多発．精査の結果，PXE-like PDE と診断．

16. ステロイド外用が無効で外用 PUVA 療法が奏功した皮膚サルコイドーシスの 1 例

村松海人，生玉梨紗，長谷川敏男（順天堂大静岡）

86 歳，女．臨床像と病理組織所見から苔癬様型皮膚サルコイドーシスと診断．ステロイド外用で改善なく外用 PUVA 療法で皮疹は改善した．

17. Acral pseudolymphomatous angiokeratoma of children (APACHE) の 2 例

伊村紀慧，増田百合香，佐野悠子，八木宏明（静岡県立総合）

集簇する紅色結節を右第 5 趾基部に生じた 10 歳女児および同様の皮疹を右前腕に生じた 10 歳女児の 2 例の APACHE 症例を経験した．前者は既報告例である．

18. 皮膚悪性腫瘍切除後の外鼻欠損に対する皮弁再建の 3 例

大塚正樹，近藤峻平，小倉康晶，戸倉新樹（中東遠総合医療センター）

外鼻皮膚がんの外科的治療には，完全切除と整容面を考慮した再建が要求される．令和 4 年後期に行った外鼻皮弁再建 3 例を示す．

- 学会予告 -

第 136 回日本皮膚科学会静岡地方会

日 時：令和 5 年 5 月 20 日（土）15 時 00 分（開始予定）

会 場：レイアップ御幸町ビル（静岡市）

※現地開催を中止し、WEB 開催に変更する場合がございます。

